



平成22年3月31日

各 位

会社名 イズミヤ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 坂田 俊博
 (コード番号 8266 東証、大証第1部)
 問合せ先 取締役上席執行役員 秘書・広報室長 田中 博和
 (TEL 06-6657-3310)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成21年9月29日に公表しました平成22年2月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成22年2月期通期業績予想数値の修正 (平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(1) 連結

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	375,000	2,700	1,400	△5,300	△65.76
今回発表予想 (B)	368,590	2,160	930	△7,010	△86.98
増減額 (B-A)	△6,410	△540	△470	△1,710	
増減率 (%)	△1.7	△20.0	△33.6	—	
(ご参考) 前期実績 (平成21年2月期)	381,131	5,339	4,189	965	11.50

(2) 個別

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	328,000	850	200	△5,200	△64.52
今回発表予想 (B)	322,290	660	30	△5,930	△73.58
増減額 (B-A)	△5,710	△190	△170	△730	
増減率 (%)	△1.7	△22.4	△85.0	—	
(ご参考) 前期実績 (平成21年2月期)	337,182	2,761	2,174	338	4.04

2. 業績予想修正の理由

当連結会計年度の第3四半期以降は、一昨年9月の米国金融危機以降による実体経済の悪化から一巡いたしました。引き続き需要不足によるデフレが進み、雇用・所得環境の改善が見られず、小売業各社による低価格競争が激化する中で、総合小売業を中心として客数・客単価の減少により営業収益が計画より大幅に下回ることになりました。

一方で、新ブランド「Style ONE」の拡大による荒利率の改善やグループ各社も含めた構造改革による費用削減を図りましたが、イズミヤカード(株)が改正貸金業法による金利下げの影響でキャッシング収益が減少したこと、貸倒引当金繰入の増加等により営業利益、経常利益が計画を下回ることになりました。

また、固定資産の減損損失等の特別損失が増加したこと、及び繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討し、税金費用が増加したことにより当期純利益が計画を下回ることになりました。

これらの結果、当連結会計年度の連結及び個別の業績予想を修正いたします。

※上記の予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であります。従いまして、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

以上